入場無料

みんなで作る緑豊かな関市の環境
—里山、森林の恵みを考える—

環境シンポジウム

照会先 生活環境課 ☎ 23-7702

「第30回全国豊かな海づくり大会」から8カ月。
この大会の成功は、多くの市民の皆さんの自然環境に対する保全意識が高まる契機となりました。

関市は、面積の8割を超える山林を有しています。
この恵まれた自然から授かる恩恵や、学校現場における森林学習にスポットをあてます。

日時

2月20日(日)
午前10時～正午

場所

わかくさ・プラザ
「学習情報館・多目的ホール」

※ご来場の方に木質ペレットのサンプル、生ごみを堆肥化する「ポカシ」を差し上げます。
(ポカシは先着200人)

講演

テーマ

「森林バイオマスを
地域おこしに役立てる」

講師

くまさき みのる
熊崎 実さん
(筑波大学名誉教授)

プロフィール

1935年岐阜県生まれ。農林省林業試験場(現・森林総合研究所)林業経営部長、筑波大学農林学系教授、岐阜県立森林文化アカデミー学長を歴任。

現在は、筑波大学名誉教授、日本木質ペレット協会会長、国内クレジット認証委員会委員。

著書に『林業経営読本』、『地球環境と森林』、『木質バイオマス発電への期待』、『木質エネルギービジネスの展望』など。訳書に『森と人間の歴史』、『世界の森林資源』、『日本人はどのように森をつくってきたか』、『樹木学』など。

子どもパネルディスカッション

瀬尻小学校、武儀東小学校、洞戸中学校、武儀中学校の児童生徒がパネラーになり、体験を発表

展示コーナー

エントランスホールにて、簡単生ごみ処理方法を展示

主催
後援

関市
関市教育委員会、関市自治会連合会、
岐阜県立森林文化アカデミー

協力

環境ネットせき、NPO 法人スリーハンド